

行/事/予/定

11~1月

- 11月26日(日) 第18回大歳地区分館対抗ソフトバレーボール大会【大歳小学校】
- 11月28日(火) 大歳地区健康づくり・絆・交流の輪囲碁大会【大歳地域交流センター】
- 12月 5日(火) 大歳地区健康づくり・絆・交流の輪将棋大会【大歳地域交流センター】
- 12月10日(日) 第32回大歳体育振興会長杯争奪少年サッカー大会【維新公園ちよるる広場】
- 1月 7日(日) 山口市消防出初式【山口南総合センター】
- 1月 7日(日) 山口市成人式【山口市民会館】
- 1月14日(日) 第13回山口市駅伝競走大会【きらら博記念公園】

大歳自治振興会 検索

ホームページも見てね!

おとしかわの路

Information

山口市花いっぱい運動花壇コンクール結果

11月3日、山口市中心商店街で開催された「HOLA!やまぐちスペインフェスタ」内で、山口市花いっぱい運動花壇コンクール審査結果が発表され、表彰式が行われました。大歳地区からは、岩富子ども会と中矢原子ども会が優良賞を受賞しました。受賞おめでとうございます。

自治会長さんと防災委員合同の防災研修会を開催しました

10月3日19時から第1回合同防災研修会を交流センター講堂で開催しました。

山口市防災士会から、久津摩さんと佐分利さんを講師として迎え「災害が起こったときの自主防災活動とは」のテーマで研修会を開催し、60名を超える参加者がありました。最初に災害の基本を学び自治会単位でのタイムラインの作成方法、災害時の要支援者対策、情報収集などを学びました。大変有意義な内容であり、この研修をもとに各自治会での防災力を高めていただきたいと思います。

チキンチキンごぼうパン販売中

大歳発祥の大人気給食メニュー「チキンチキンごぼう」をサンドしたパンが、地元のパン屋さん「はるぱん」で販売中です。このパンは、7月に開催された「地撮り山口大歳」で特別に作っていただいたものですが、改良が加わりさらにおいしくなって商品化されました。パンが通常のものとは歯ごたえのよいソフトフランスパンのものと2種類あります。



店長 春田淳さん



1個220円です。ぜひご賞味ください。

はるぱん 山口市矢原1177-2 電話083-924-1918

第4回交流列車おおとしまつりを開催

9月23日(土)、秋晴れのもと交流列車おおとしまつりが開催され、300人をこえる皆さんがハワイアン、二胡やハーモニカ演奏などのステージや、かき氷、そうめんなどの振舞いを楽しみました。11時前のSL通過時には100人を超える人々が手旗を振って歓迎し、最後はおおとしひろめ隊の踊りに多くの方が声援を送りました。来年も開催する予定ですので多くの方のご来場をお待ちしています。



大歳自治振興会 事務局員募集

大歳自治振興会では、地域づくりをサポートする事務局員1名募集します。

内容:一般事務 勤務地:大歳地域交流センター内
任用予定:平成30年4月1日から
問い合わせ:大歳自治振興会(☎920-1700)
※面接日時、勤務日数、勤務時間、賃金等は大歳自治振興会までお問い合わせください。

編集後記 大歳初となるフォトコンが開催され、作品が集まらなかったらという皆の心配は杞憂に終わりました。春先から募集を開始したので春夏秋冬の写真がそろい、大歳のほどほどの田舎の良さが表れているものとなりました。時間が止まったかのような瞬間を撮った作品もあり、審査員も思わず唸っていました。また来年も開催し、ホームページに大歳アーカイブスというのを作りたいと思っています。(内田)

まちづくり おおとし かわら版 2017.11 Vol.48

大歳の自然・風景・史跡 大歳を広くアピールしよう!

おおとしフォト・コンテスト

胸に刻もう!

大歳の自然や史跡、大歳で生きる人々の姿を

見慣れた風景と人々の姿、でも、それは刻々と変化してまいります。その1場面を写真に切り取って残していこう、同時に、明治維新150年記念事業の一環として取り組まれている「大歳歴史散歩マップ」に移し替えて、みんなで大歳を再発見しようといわれたフォトコンテスト。10月20日の審査を経て、入賞作品が決まりました。大歳まつりでも展示します。



金賞

「冬の馬頭観音」澤村忠和



銅賞

「吉敷川を走る貴婦人号」常田 稔



銀賞

「はっけよーい、のこった!」増山亜希菜



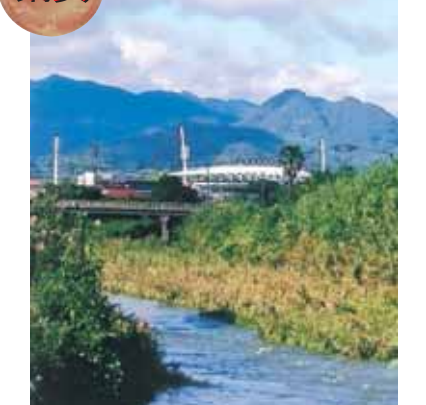
銅賞

「のどかさの中」車田純子

【講評より】

季節の空気感が伝わってくる写真、親子の微笑ましい一瞬をとらえたもの、絶妙なタイミングで撮ったものなど力作がそろった。大歳まつりでお披露目しますので、是非大歳を再発見してください。

銅賞



「今昔の人々が集う風景」平仲三佐江

審査風景

祝 恒例 敬老祝賀会 開催！ いつまでもお達者で

9月16日(日)、山口県健康福祉会館(吉敷)で、大歳地域敬老祝賀会が午前11時より行われました。該当者「75歳以上」1,362人のうち、236人の出席がありました。

主催者の挨拶に続いて市長をはじめ来賓の祝辞や大歳小学校児童代表のお祝いの言葉などがあり、さらに第二部として演芸が行われ、折詰弁当を開きながらの楽しいひとときとなりました。来年もお元気で再会できることをお祈りします。

なお、山口市は100歳以上の方、148人(男性19人、女性129人)が健在です。



手作りの
プレゼントが
うれしい!

野々村社協会長



女将劇場



さわやか学級の児童による踊り



がんばる人 in OHTOSHI Vol.12

地域でイキイキと活躍している「がんばる人 in OHTOSHI」をご紹介します!

半世紀にわたって公民館活動に貢献



敬老祝賀会で
安富 昭人さん(下湯田)

祭や行事があると今も必ずその姿が会場にあります。あちこちに声をかけながら、ゆっくりと会場を回る笑みに満ちた姿を目にした人も多いでしょう。安富さんが、公民館活動に積極的に参加し始めたのは昭和43年と言いますから、半世紀に及ぶ活動歴です。おじの安富俊雄さんが公民館長になって「手伝ってくれ」と頼まれた時からです。

とりわけ昭和61年体育振興会を立ち上げ、白上会長とのコンビで、ソフトボール大会の優勝旗を新調して大会を盛り上げた活動や大歳祭で「フラフラダンス」や「おおとしの湖」などのダンス?をPTA、JA、郵便局などの代表を誘って(強要して?)踊るなど、「とにかく盛り上げんといかんとかんばったもんじゃ」と昔を懐かしみました。公民館活動(今は様々な部会を中心とした活動)が盛なりし時代の生き証人として安富さんの話は尽きることがありませんし、私たちが懐かしい風景として憶えておきたいものだと思います。

現在安富さんは90才、卒寿の祝で正装した姿はまだ元気で。



自治会レポート

朝田 編

各自治会にスポットをあて、地域の様子や日頃の悩み、抱負を自治会長さん達にざっくばらんに話していただくコーナーです。

今回は朝田自治会の石丸浩一さんです。石丸さんは昭和51年生まれの41歳です。自治会長は今回が初めてです。朝田自治会の世帯数は、個人34戸、会社が9社の計43世帯です。自治会員は高齢者・後期高齢者が殆どです。この地域は国道9号線を挟んで北と南に分かれていて、北の山裾の集落は静かで、夏は朝田川に蜚が出るぐらい水がきれいです。

自治会長になってからの取り組みとしては、この6月、近隣の人から「樹木のせいで道路の見通しが悪い」と連絡があり、さっそく山口市の道路



避難について

防災講座



伐採前



見通しがよくなった伐採後



朝田自治会長
石丸 浩一さん

河川管理課に対応を依頼し、八月上旬には樹木を伐採してもらいました。また9月には一自治体一事業として、初めて山口市の防災士・2人の講師を招いて防災講座を開き、地域の安心・安全について学びました。

悩みは、高齢者・後期高齢者の多い地区ですので、体育祭など自治振興会の行事に参加できないことです。また北の山裾、特に西の流通センター側の田畑に猪が出没し農作物に被害をもたらします。これも悩みの種です。

大歳歴史の散歩道 Vol.27

明治維新と石州街道 その1 歩き方まで変わった

江戸時代の歩き方で石州街道を歩いてみませんか。「何、江戸時代は今と歩き方が違っていたのか」と思われるかもしれませんが、そうです。江戸時代までは「なんば歩き」と言われる、右足が出る時には体を右側に傾け、右手が一緒にでて、うつむき加減で、すり足気味に歩いたのです。今、学校の体育祭の入場行進でこんな歩き方をしたら、すぐに先生の叱声が飛びます。「顔を上げて、体を伸ばして、足を高く上げて、右足を出した時には左手を前に、バランスをとって、体を揺らさないで歩きなさい。はい1・2、1・2」と指導されますし、私たちの日常の歩き方も、このようになっています。

江戸時代までの歩き方は、今は大相撲の「鉄砲」や時代劇で、お互いのにじり寄り寄る決闘場面で見ませんが、田んぼに入れば、すぐに納得がいきます。田植えのため泥田に入ったとき、みんな自然にこうした歩き方になってしまいます。江戸時代までの歩き方は温帯モンスーンの水田地帯で広

がっていた自然な歩き方だったのです。

逆に言えば、明治以降広がった現在の歩き方は、徴兵制で集められた兵隊の訓練に始まり、やがて軍事訓練の無駄をはぶくため、学校教育にもちこまれ全国に広がっていきました。明治に起きた変化は産業の急速な発展だけでなく、歩き方を含む日常生活や文化などの洋風化=国際標準への準拠がすすんだことでもありました。明治を懐かしめば、日本の文化や伝統を大切にしているなどと錯覚すると大きな間違いを犯すことになります。これも易々と国際標準への移行を受け入れたのはなぜか。明治維新とどうかかわるのかが重要な課題といえます。



左手と左足の揃ったなんば走りの飛脚